



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三七九号〕

秋分 しゅうぶん
九月二十三日

抜穂祭 ぬいぼさい

一日の昼と夜の時間がほぼ等しくなる秋分を迎えました。また、「暑さも彼岸まで」のお彼岸でもあります。暑さもそろそろ収まってほしいところですよ。

九月二日、伊勢市楠部町くすべちやうにある神宮神田じんぐうしんでんで、「抜穂祭」がありました。一般でいう稲刈りにあたるお祭りです。神宮神田へ行くと、見事に頭を垂れた稲穂が黄金色に輝いていました。今年四月二日に、籾もみだねを蒔く「神田下種祭けしめさい」を取材していたため、五ヶ月を経て、立派に育った稲穂にひとしお感激しました。

この日は前夜の激しい雨で天候が心配されましたが、雨が上がり、途中から青空も望めるほどでした。お祭りには新しく就任した久邇大宮司をはじめ、五十人ほどの参列がありました。まず、祭場さいじやうでんと呼ばれる神田前に、神饌しんせん(食)を供えます。真っ赤な伊勢エビや鯛、御餅みもちなど畦道で取材している私も拝見できました。

そして、神宮神田を管理する山口作長が、尊いという意味の忌鎌いみかまを奉仕員に手渡すと、奉仕員は稲田に入り、稲穂を刈り取りました。刈り取られた稲穂は、三十センチほどに切り揃えられた後、麻緒あさおで結わえられ、二つの初穂はつほの束に。今年も無事の稔りとなりました。

今年は、穂がつく八月くらいまでは高温ながらも順調だったようですが、そのあと雨が多く心配されましたが、無事に穂が垂れてよかったです。関係者が話してくれました。たしかにここ数年の高温やゲリラ雷雨など、日本の気候も随分と変化してきました。その中で、米作りの現場も戸惑いと工夫が要求されることでしょう。抜穂祭で収穫された初穂は、いったん保管され、十月神嘗祭かんなめさいで神前に供えられます。

文 千種清美

おかげの里便り

おかげ横丁

○『第28回来る福招き猫まつり』

9月29日は、「来る福(くるふく)」と縁起良く読めることから「招き猫の日」です。
今年は、『安寧という福を』テーマに、安寧という福を招きたい、お届けしたい、お持ち帰りいただきたいと願っております。

日 時／9月17日(土)～9月29日(木) 9:30～17:00 (催しにより異なる)

場 所／おかげ横丁一帯

※主催者側の判断により、一部内容に変更が生じる場合がございます。

●来る福展覧会

10名の招き猫作家さんのミニ個展を各店でお楽しみください。

出店作家／彬香子(孫の屋三太)、小出信久(つぼや)、

小嶋サチコ(かみなりや)、松風直美(山徳記念館)、

すみ田理恵、渡辺志野(晩酌屋久兵衛)、東早苗(他抜きだんらん亭)、

平林義教・利依子(しろがね屋)、水谷満(福鼓堂)、

吉田一也(吉兆招福亭)

○『第二回日本橋に「おかげ横丁」がやってくる』

首都圏で三重の魅力を情報発信する「三重テラス」にて、「来る福招き猫まつり特別企画」や「横丁かみしばいの特別口演」、「神恩太鼓のライブ中継」、「赤福餅の特別販売」、「おかげ横丁オリジナル商品の販売」など、伊勢とおかげ横丁の魅力をたっぷりお届けします。

日 時／10月7日(金)～10月10日(月・祝) 10:00～17:00

場 所／三重テラス2階イベントスペース (東京都中央区日本橋室町2丁目4-1)

入 場／無料

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの内容を変更、中止する場合があります。

お問合せ／おかげ横丁総合案内 TEL0596-23-8838

五十鈴塾

○『身体の声聴こう』

一般的に表現される健康な身体、良い姿勢、良い動きとは何でしょうか？育ってきた環境が違えば、誰一人として同じ身体ではないので、“一般的な良い”は当てはまりません。

自分自身の身体はどんな状態でしょうか。身体の声聴いてあげることで不必要に頑張りすぎている場所、あまり働いてくれない場所に気付くことが出来ます。

まずは身体の状態を理解して、ひとりひとりに合った良い動きをレッスンの中で探索してみましょう。レッスンの中では普段はしない非習慣的な動きをゆっくり、じっくり行なうことで眠っていた身体のパワーを目覚めさせていきます。自分にとっての良い姿勢、良い動きを身に付ける事で、やりたくても諦めてしまっていた趣味や、挑戦してみたかったことなどにチャレンジする身体を手に入れましょう！

(今回は要望があれば個別に先生のアドバイスを受けることもできます) ※動きやすい服装でお越しください。

日 時／9月29日(木) 13:30～15:30

講 師／欠塚 優希(フェニックス健診クリニック作業療法士・コンディショニングトレーナー)

参加費／一般 1,500円 会員 1,000円

場 所／五十鈴塾右玉舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となる可能性があります。

五十鈴茶屋

○『節気菓子』

はつもみじ
初紅葉

伊勢の野山も秋の装いになり、木々の葉が美しく彩り始めました。
川面の様子を寒天で表し、伊勢からの秋便りを届けます。

はつかり
初雁

「初雁」とは、その年の秋、初めて姿を見せた渡り雁のことです。
山芋を使った薯蕷生地で白餡を包み、雁の飛ぶ姿を表しました。

つきよ
月夜

毎夜少しずつ姿を変える月には、様々な呼び名があります。
満月の前夜に上る小望月から、十六夜の月などです。
こし餡の蒸し羊羹に栗を仕込み、美しい秋の夜空を表しました。